

『國語國字』第二二〇號 原稿募集の御報せ

日頃は國語問題協議會に格別の御支援を有難うございます。

『國語國字』次號の企畫として、國語國字の「聖地」、國語國字の「負の遺産」を募集いたします。單發の記事に止らず、將來も随時充實させてゆくつもりです。

以下の例文を参考に、身近でお気づきの「聖地」や「負の遺産」をお送りください。

い。全體のバランスを考へ、記述を改變するかもしれませんが御容赦ください。「これはどうか」と迷ふものでも、新たな分類項目を建てる場合があります。積極的な應募をお待ちしてゐます。

「聖地」の例文

○朝臣太安萬侶の墓所 奈良市此瀬町

「國語」の祖、『古事記』の撰錄者として夙に有名。昭和五十四年に墓誌が発見され、偽書や架空人名説は完全に否定された。

○小倉山莊、時雨亭跡 京都嵯峨野

「假名遣」の祖である藤原定家卿が小倉百人一首を撰んだとされる地。

○邑知郵便局 石川縣

附近の「邑知潟」など字音表記「おうち」のところ、湯桶讀みの「おおち」を守ってゐる。「邑」のつく地名は全國に數ヶ所あるが、本來悉く「おほ」であった。

「負の遺産」の例文

○現代假名遣の「新制かるた」百人一首

戦後すぐ、「東京かるた會」により普及が圖られ、定着まであと一歩であった。今も骨董品として流通してゐる。

○田中角榮の「漢詩」

毛澤東・周恩来に贈った自稱「七言絶句」。額装した頒布品は今なほ骨董として入手できる。

○鹽竈市の交通標識

「塩竈市」「塩釜駅」「鹽竈神社」三種の新舊字體ならびに異體字が混在し、「やさしい國語」の渾沌を象徴する。

入稿方法 電子メール（可能な方は成る可くこちらで）、FAX、郵送

締切（最終到着日）は十月十日（火）です。

○總ての原稿が掲載されるとは限りませんので御諒承下さい。

○御送りいたゞく原稿の漢字は新漢字でも構ひませんが、組版時に正字・正かなに統一いたします（新字・新かなによる引用文や固有名詞等を除く）。

○掲載料は不要ですが、原稿料も出ませんので御諒承下さい。

○原稿の著作権は各執筆者に歸屬しますが、『國語國字』冊子版、電子版、合本、内容見本への使用を許諾していただくものとします。なほ、頒布數や頒布方法等については理事會擔當者が決定します。

國語問題協議會加藤會長 宮城にきたる！

國語國字問題に興味を御持ちの皆様、共に集って語り合ひませんか。宮城縣登米市は「能」、漫畫家の石森章太郎の出身地、および令和三年のNHKドラマ『おかえりモネ』の舞臺として有名な場所です。

行程豫定

●十一月十六日（木）仙臺驛集合。登米市にバスで移動し「教育史料館（舊登米高等尋常小學校）・傳統藝能傳承館「森舞臺」をはじめとした市内散策。仙臺にて食事會。

●十一月十七日（金）鹽竈神社、松島。現地解散。
詳しくは國語問題協議會事務局まで御問合せ下さい。

